



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月11日

上場会社名 富士精工株式会社
 コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 森 誠
 (氏名) 近藤 規央 TEL 0565-53-6611
 配当支払開始予定日 平成29年11月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	9,947	2.7	126	83.1	265	120.3	96	39.7
29年2月期第2四半期	9,688	14.6	69	91.0	120	87.2	159	71.8

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 274百万円 (%) 29年2月期第2四半期 933百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	5.10	5.09
29年2月期第2四半期	8.18	8.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	23,673	16,719	62.0	783.99
29年2月期	23,619	16,583	61.5	767.69

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 14,674百万円 29年2月期 14,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		3.00		3.00	6.00
30年2月期		3.00			
30年2月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,390	0.0	460	335.4	710	131.2	450	51.2	23.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	21,533,891 株	29年2月期	21,533,891 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	2,815,902 株	29年2月期	2,615,319 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	18,852,729 株	29年2月期2Q	19,484,342 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、金融市場が活況を見せ製造業や貿易の回復など堅調な上昇に期待がかかるものの、先進国を中心として保護主義の機運が高まり、所得不均衡などの構造的な問題が拡大することへの懸念から景気回復の足取りを重くしております。

わが国経済におきましては、昨年の米国大統領選挙後の円安・株高などもあり、引き続き企業業績の緩やかな回復、雇用情勢・所得環境の改善がみられました。一方で、北朝鮮等の地政学リスクの高まりにより、国内景気の先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、企業業績は堅調に推移し、今後の設備投資に対する期待感はあるものの、世界経済の動向、環境対応、国内市場対策など不安要素もあり、経済環境の先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては「グループ中期経営計画」の達成を目指し、新事業推進部を立ち上げ積極的な事業展開に向けた足場づくりに着手しました。また、意思決定の迅速化を目的に取締役会をスリム化し、機動的な事業展開ができる体制づくりを行いました。

これらの活動のもと、取引先からの受注確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は99億4千7百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は1億2千6百万円（前年同四半期比83.1%増）、経常利益は2億6千5百万円（前年同四半期比120.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9千6百万円（前年同四半期比39.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、工具需要に一服感が見られ、売上高は54億6千3百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

また、昨年の熊本地震の影響は脱したものの労務費の増加等により、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期は7千5百万円のセグメント損失）となりました。

②アジア

当地域におきましては、東南アジアで減収となったものの東アジアで増収となり、売上高は27億5千6百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

また、連結子会社各社の労務費の増加等により、セグメント利益は3千6百万円（前年同四半期比78.7%減）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、工具需要に一服感が見られ、売上高は9億2百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

また、機械設備の減価償却費が増加し、セグメント利益は1千3百万円（前年同四半期比49.7%減）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は6億2千4百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。また、材料費の減少等、積極的な原価低減活動を行ったものの、4百万円のセグメント損失（前年同四半期は4千3百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は2億円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比93.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は236億7千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して、5千3百万円増加いたしました。これは主に、有価証券が1億9千4百万円、電子記録債権が8千2百万円それぞれ増加したものの、機械装置及び運搬具が1億1千4百万円、商品及び製品が9千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は69億5千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して、8千2百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が1億6千8百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が8千2百万円、1年内返済予定の長期借入金が4千9百万円、短期借入金が4千7百万円、長期借入金が4千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は167億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1億3千6百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る調整累計額が1億1千4百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は62.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して、3億4千万円増加し、54億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は9億8千6百万円（前年同四半期比250.3%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2億6千8百万円、減価償却費5億7百万円、法人税等の還付による収入1億2千9百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は3億7千万円（前年同四半期比53.6%増）となりました。

これは主に、有価証券の売却及び償還による収入2億3百万円、有形固定資産の取得による支出4億8千3百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2億6千7百万円（前年同四半期比25.2%減）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出8千7百万円、自己株式の取得による支出8千6百万円、配当金の支払額5千7百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、業績予想数値と決算数値に差異が発生しております。また、通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月13日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

詳細につきましては、本日（平成29年10月11日）公表いたしました「平成30年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と決算数値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845,402	4,833,009
受取手形及び売掛金	3,672,119	3,597,093
電子記録債権	1,185,384	1,268,171
有価証券	468,987	663,960
商品及び製品	1,348,137	1,251,961
仕掛品	484,633	544,112
原材料及び貯蔵品	409,758	442,827
繰延税金資産	184,428	216,967
その他	315,614	204,359
貸倒引当金	△63,238	△62,495
流動資産合計	12,851,227	12,959,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,343,066	2,274,476
機械装置及び運搬具(純額)	3,874,632	3,759,882
土地	1,464,978	1,472,240
建設仮勘定	67,955	149,007
その他(純額)	195,899	180,908
有形固定資産合計	7,946,532	7,836,516
無形固定資産	231,863	222,888
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,673	2,193,415
長期貸付金	3,881	3,593
繰延税金資産	337,944	323,247
その他	158,039	165,518
貸倒引当金	△31,758	△31,758
投資その他の資産合計	2,589,780	2,654,018
固定資産合計	10,768,176	10,713,423
資産合計	23,619,403	23,673,391

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,200,791	1,118,783
短期借入金	479,638	431,801
1年内返済予定の長期借入金	91,605	41,660
未払法人税等	33,293	201,682
賞与引当金	131,977	163,008
災害損失引当金	2,570	—
その他	1,125,185	1,023,654
流動負債合計	3,065,061	2,980,591
固定負債		
長期借入金	229,454	185,263
繰延税金負債	13,175	3,922
退職給付に係る負債	3,516,014	3,578,995
その他	212,077	204,932
固定負債合計	3,970,720	3,973,114
負債合計	7,035,782	6,953,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,147,458	4,144,550
利益剰余金	9,228,105	9,267,480
自己株式	△715,049	△773,053
株主資本合計	15,542,531	15,520,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547,080	524,869
為替換算調整勘定	△160,905	△81,052
退職給付に係る調整累計額	△1,405,016	△1,290,050
その他の包括利益累計額合計	△1,018,841	△846,233
新株予約権	26,248	20,800
非支配株主持分	2,033,683	2,024,125
純資産合計	16,583,621	16,719,685
負債純資産合計	23,619,403	23,673,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	9,688,656	9,947,716
売上原価	7,803,211	7,909,707
売上総利益	1,885,445	2,038,009
販売費及び一般管理費	1,816,392	1,911,579
営業利益	69,052	126,429
営業外収益		
受取利息	16,417	17,960
受取配当金	14,313	12,587
持分法による投資利益	62,238	54,556
為替差益	—	11,923
その他	68,325	52,367
営業外収益合計	161,294	149,395
営業外費用		
支払利息	7,268	7,370
売上割引	89	236
為替差損	98,682	—
その他	3,824	2,817
営業外費用合計	109,864	10,424
経常利益	120,481	265,400
特別利益		
固定資産売却益	4,807	860
投資有価証券売却益	21,319	4,611
新株予約権戻入益	2,760	2,928
受取保険金	30,000	—
特別利益合計	58,887	8,400
特別損失		
固定資産除売却損	7,872	4,799
災害による損失	126,001	164
貸倒引当金繰入額	181	—
特別損失合計	134,054	4,963
税金等調整前四半期純利益	45,314	268,837
法人税、住民税及び事業税	98,455	174,148
法人税等調整額	△274,975	△21,593
法人税等合計	△176,520	152,555
四半期純利益	221,835	116,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	62,459	20,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,375	96,131

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	221,835	116,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,967	△22,210
為替換算調整勘定	△1,203,860	△11,255
退職給付に係る調整額	108,388	115,250
持分法適用会社に対する持分相当額	△27,022	76,613
その他の包括利益合計	△1,155,462	158,397
四半期包括利益	△933,626	274,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△708,036	268,738
非支配株主に係る四半期包括利益	△225,590	5,940

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	45,314	268,837
減価償却費	484,577	507,021
持分法による投資損益(△は益)	△62,238	△54,556
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44,415	70,335
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,060	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,991	31,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,082	△165
受取利息及び受取配当金	△30,730	△30,548
支払利息	7,268	7,370
有形固定資産除売却損益(△は益)	3,064	3,939
受取保険金	△30,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,319	△4,611
災害損失	126,001	164
売上債権の増減額(△は増加)	268,448	△11,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△142,357	△2,825
仕入債務の増減額(△は減少)	△208,423	△76,642
その他	99,589	104,791
小計	552,459	813,123
利息及び配当金の受取額	105,987	82,014
利息の支払額	△7,177	△7,337
保険金の受取額	30,000	—
災害損失の支払額	△45,831	△21,036
法人税等の支払額	△353,892	△9,551
法人税等の還付額	—	129,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	281,544	986,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△104,965	△67,838
有価証券の売却及び償還による収入	221,233	203,533
有形固定資産の取得による支出	△332,517	△483,185
有形固定資産の売却による収入	2,819	1,938
貸付けによる支出	△1,549	△63
貸付金の回収による収入	760	1,015
その他	△26,875	△25,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,094	△370,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△116,668	△41,664
長期借入金の返済による支出	△107,780	△87,063
自己株式の売却による収入	14,091	23,310
自己株式の取得による支出	△562	△86,742
配当金の支払額	△136,092	△57,023
非支配株主への配当金の支払額	△6,969	△14,306
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,189	△4,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,170	△267,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△365,063	△7,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△682,784	340,677
現金及び現金同等物の期首残高	5,953,987	5,060,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,271,203	5,400,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,493,966	2,538,516	915,719	528,824	9,477,027	211,629	9,688,656	—	9,688,656
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,010,542	407,145	577	—	1,418,265	10,588	1,428,854	△1,428,854	—
計	6,504,509	2,945,661	916,297	528,824	10,895,293	222,218	11,117,511	△1,428,854	9,688,656
セグメント利益 又は損失(△)	△75,213	170,088	27,296	△43,378	78,792	19,782	98,574	△29,522	69,052

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,463,655	2,756,580	902,263	624,548	9,747,048	200,667	9,947,716	—	9,947,716
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	944,231	365,876	—	—	1,310,108	8,704	1,318,812	△1,318,812	—
計	6,407,886	3,122,457	902,263	624,548	11,057,157	209,371	11,266,528	△1,318,812	9,947,716
セグメント利益 又は損失(△)	55,859	36,152	13,726	△4,863	100,874	1,328	102,203	24,225	126,429

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。